

## 署内意見発表会を開催

令和5年2月10日（金）、消防本部多目的室にて署内意見発表会を開催し、各署所の代表者6名が日々の職務を通じて体験したことについての教訓や抱負、提案等の発表を行いました。

この意見発表会は4月6日に本市で開催される第46回長崎県下消防職員意見発表会の選考を兼ねており、選考の結果、最優秀賞に西消防副士長、優秀賞に富森消防士が選ばれ、2名が出場することに決定しました。

西消防副士長は、自身の救急出動時の経験をきっかけに、会話について調べ、「聞く力」に着目。相手に寄り添った「聞く力」が、とある電話対応で効果を発揮し、人に安心を与え、やりがいを感じた。相手に共感し寄り添うことで安心を提供し、思いやりのある消防人になりたいと発表しました。

富森消防士は、令和3年に採用され、向上心を持って日々の業務、訓練に励んでいます。初めての火災出動で、焼け残った我が家を見つめる市民を目にし、火災が発生してからでは遅いと感じたことから、出向する業務の際に火災予防広報を実施することや、住宅用スプリンクラーの設置について発表しました。

